

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27 担当課	H28 担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 (実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針)		総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
									事業の評価	今後の方針	
基礎 交付 1	館山市総 合戦略策 定事業	首都圏（東京・ 横浜）から2時 間以内という地 理的要件及び恵 まれた自然環境 を最大限活用 し、観光振興や 移住定住促進・ 子育て支援施策 の推進を核とし た「館山市総合 戦略」を策定す るため、調査分 析を行う。	1	<p>《館山市総合戦略策定事業》</p> <p>●地方創生先行型事業交付金（タイプⅡ）の申請要件となる平成27年10月30日までに策定する。</p> <p>【計画期間】 平成27年度～平成31年度（5年間）</p> <p>【人口の将来展望】 中長期的には、人口減少は避けられない。 ⇒2060年に30,000人程度を維持</p> <p>【基本目標】</p> <p>① “海”の魅力に磨きをかける ② “食”の豊かさで人をひきつける ③ “若者”の夢と希望をかなえる ④ 未来に誇れる“ふるさと愛”をはぐくむ</p>	企画課	企画課	<p>【執行額】 925,201円</p> <p>【補助対象額】 896,400円</p> <p>【交付金充当額】 800,000円</p>	<p>【評価指標】 ***</p> <p>【基準値】 ***</p> <p>【目標値】 ***</p> <p>【実績値】 ***</p> <p>【達成率】 ***</p>	※本事業に係る効果検証は不要	※本事業に係る効果検証は不要	<p>事務局案（【KPIに対する評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。</p> <p>・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など</p>

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27 担当課	H28 担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 （実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針）		総合計画審議会委員による意見 （事務局案について）
									事業の評価	今後の方針	
基礎 交付 2	インバウンド推進 事業	成田・羽田両国 際空港から2時 間以内という地 理的強みを活か し、訪日外国人 観光客（インバ ウンド）増加に よる市内産業の 活性化を図る。	2	《①公衆無線LAN普及促進事業》 啓発ステッカーの作成、市内宿泊施設等の公衆無線LAN整備に係る支援を行う。 ●啓発ステッカーの作成：150部 ・市役所ほか計4カ所に12枚貼付 ●宿泊施設等への公衆無線LAN整備に対する補助制度の創設 （1施設当たり約20,000円程度）	情報課	情報課	【執行額】 ①51,840円 ②1,181,413円 ③952,262円 【補助対象額】 2,017,873円 【交付金充当額】 2,000,000円	【評価指標】 外国人宿泊者数 【基準値】 759人 【目標値】 782人 【実績値】 445人 【達成率】 56.9%	【KPIによる評価】 ・ある程度有効であった 【理由・説明】 ・公衆無線LAN（Wi-Fi整備）の啓発により、民間施設のWi-Fiへのニーズが高まり、今後のWi-Fi整備拡大が見込まれ、外国人観光客の誘致につながる事が期待できる。	【今後の方針】 ・事業内容の見直し（改善） 【理由・説明】 ・今後、民間施設のWi-Fiに関しては、県補助金の活用による整備促進を図ることとし、市としては、フラワーライン沿いに市が設置している公衆トイレ等のうち、バイクラックがある施設等へのWi-Fi整備を行い、外国人旅行者だけでなく、サイクルツーリズムの発展のため、情報通信の利便性向上・情報発信力の拡充を図っていく。	○賛成である。 ○公共施設への整備には賛成だが、民間への県補助金の周知、Wi-Fi環境整備の必要性をもっと伝えたほうが良いのではないかと。
			3	《②インバウンド推進事業》 訪日外国人増加による市内産業活性化を図るため、外国語表記パンフレットの作成及び外国人向けモニターツアーを行う。 ●英字観光パンフレットの作成：10,000部 ・観光施設等やメディア関係に設置・配布 ●南総里見まつりモニターツアーの実施 ・対象：米軍海軍横須賀基地隊員及び家族 ※通訳等を含め63名が参加	プロ モー ション みなと 課	商工観 光課	【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった。 【理由・説明】 ・達成率は目標値よりも低くなったが、今後、英字観光パンフレットは、訪日外国人誘致の非常に有効なアイテムとして活用が期待できる。 ・モニターツアーについては、継続的に実施し、参加者にSNS等による情報発信を依頼することにより、世界に向けて、館山市の観光資源の発信が期待できる。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・英字観光パンフレットを成田空港、羽田空港、東京駅、米軍基地、海ほたる等に配置・配布することにより、効果的な誘客・集客を図っていく。 ・インバウンドモニターツアーは、米軍基地旅行案内と連携し、継続的に実施し、アンケート調査の実施により、さらなる観光ツアーの開発に努めていく。	○賛成である。 ○今後もぜひ事業を継続、強化してほしい。館山は、成田・羽田からのアクセスが悪くなく、東京オリンピックが4年後に迫る中、さらなる外国人観光客の誘致に取り組んでいくべき。 ○英文（外国語）パンフレットは、対象となるターゲットを絞るなど、工夫が必要。ウェブサイトの充実も必須。 ○インバウンドモニターツアーは継続して行ってほしい。 ○外国人観光客の受入態勢（語学力・食事の配慮・習慣の違いに対応する案内表示等）が充実すると良い。 ○インバウンド推進は必要と考えるが、外国人の対象を広くせず、特定の国や地域に絞っても良いかと思う。 ○通訳の養成促進。 ●外国人観光客を多く呼び込むのは困難であり、かつ、外国人観光客の対応を難しいので、現状よりあまり拡充すべきではない。 ●著名な観光地は、どこも外国人だらけだが、館山にはほとんどいない。その差は何なのか。しっかりと把握したうえで、対応策を検討すべき。		

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27 担当課	H28 担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 （実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針）		総合計画審議会委員による意見 （事務局案について）
									事業の評価	今後の方針	
			4	<p>《③体験観光メニューブラッシュアップ事業》 甲冑着用体験メニューの充実を図るため、各種備品購入等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子供用甲冑の購入：1領 ●大人用甲冑の修繕：2領 ●陣幕の製作 ●その他備品（台車等）の購入 	博物館	博物館			<p>【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった。</p> <p>【理由・説明】 ・当該メニューは、市立博物館の教育普及事業、歴史体験教室「甲冑を着よう」として従来から実施しているもので、実際に着用して重さや感触を体験でき、日本の歴史文化を紹介するにあたり有効なツールである。 ・子供用甲冑を新たに1領購入することにより、親子連れの入館者増加を図った。 ・また、外国人向けに甲冑着用手順等を説明した英語パンフレットも新たに作成し、より深い知識、関心を持てるよう配慮した。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・今後も教育普及事業の一環として、また、外国人が興味を持てる観光ファクターとして、市ホームページ等で情報を発信しながらインバウンド増加に努めていく。</p>	<p>事務局案（【KPIに対する評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など
			*	*****	***	***	***	*****	*****	*****	<p>《インバウンド推進事業全体への意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目標が“外国人宿泊者数の増加”であるので、日本に来る前の情報収集の段階で館山を選んでもらう必要がある。従って、ネットによる情報発信（海外から館山の情報にアクセスしやすく、欲しい情報がわかりやすく探しやすいこと。宿泊施設の検索・予約も含めて）にもっと力を入れて、さまざまな施策と連動させるようにすべき。達成率の低さに対する検証及び戦略の見直し（特に【No.3：インバウンド推進事業】）が必要ではないか。

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27 担当課	H28 担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 (実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針)		総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
									事業の評価	今後の方針	
基礎 交付 3	地域資源 を活用し た観光振 興事業	古くから首都圏 を代表する保養 地として発展し てきた当市の地 域資源（恵まれ た気候・自然・ 風土など）を活 用し、「観光立 市たてやま」の 魅力向上による 地域活性化を図 る。	5	<p>《①恋人の聖地プロジェクト事業》 NPO法人地域活性化支援センターが主催する 「恋人の聖地プロジェクト」に参加し、地域の新 たな魅力づくりを図るとともに、出会い支援など の少子化対策への活用を図る。 ●H27.7.1に「恋人の聖地」に認定 (鏡ヶ浦から富士の見えるまち 館山) ●専用Webサイトの開設 ●オリジナル婚姻届の作成・配布 ●PRチラシ・ポスターの作成・配布 ●カップル向けダッペエシールの作成・配布</p>	企画課	企画課	<p>【執行額】 ①1,853,859円 ②7,122,463円 ③3,145,695円 ④729,000円</p> <p>【補助対象額】 12,705,275円</p> <p>【交付金充当額】 12,258,097円</p>	<p>【評価指標】 観光入込客数</p> <p>【基準値】 1,630,000人</p> <p>【目標値】 1,678,900人</p> <p>【実績値】 1,888,000人</p> <p>【達成率】 112.5%</p>	<p>【KPIによる評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・市の記者会見等を利用した情報発信により、日本経済新聞、読売新聞を始め、地元新聞や雑誌等で取組について数多く取り上げられた。 ・市のPR効果や取組が認められ、『恋人の聖地 第2回観光交流大賞2016』におけるJTB賞の受賞、「恋人の聖地観光協会」初代会長の市長就任につながった。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・観光協会を始めとした関係団体等との連携（官民協働）を拡充し、今後も「恋人の聖地」を活用した取組を継続し、地域活性化につなげていく。</p>	<p>○賛成である。 ○何かストーリー性を創作してアピールしていくのも面白いのでは。 ○「恋人の聖地」を目的に来訪する人を増やすような仕掛け、さらに経済効果が出る取組（買いたくなる記念品やサービスなど）等の工夫が必要。 ○若者の観光客増加が目的なら良いと思うが、少子化対策、結婚・出産・子育てが目的となると再考する必要があると思う。</p>
			6	<p>《②沖ノ島環境改善事業》 沖ノ島の貴重な自然環境保護のため、夏場にマナー啓発指導員の配置、啓発チラシの作成、案内所開設等を行う。 ●マナー啓発指導員の配置 ●啓発チラシの作成：10万部 ●案内所（ビジターセンター）の開設</p>	商工観 光課	商工観 光課		<p>【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・沖ノ島の貴重な自然が維持され、多くのメディアに取り上げられるようになったことから、海水浴場の入込数が増加した。 ・今後も、自然環境が維持されるようマナー啓発活動等を継続していく必要がある。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・沖ノ島を拠点として活動する団体と連携（官民協働）し、独立行政法人の助成事業を活用し、貴重な自然環境保護のための活動を継続していく。</p>	<p>○賛成である。 ○沖ノ島で駐車場誘導及び啓発チラシを配布している指導員に会ったが、この取組は効果的で印象も良い。環境保護をしながらの観光客誘致はとても難しいが不可欠だと思うので、長く継続されるよう望む。 ○館山の貴重な自然遺産であり、今後もぜひ継続して行ってほしい。 ○マナー啓発指導員の増員、英語その他外国語対応の利用案内、注意喚起のチラシ媒体などの製作・配布などの検討をお願いしたい。 ○環境改善にとどまらず、目的である観光振興、地域活性化につながる施策も必要ではないか。通年で（体験型で）観光客を呼べる資源だと思うため。</p>	
			7	<p>《③「渚の駅」たてやま 施設機能強化事業》 「館山おさかな大使：さかなクン」との協力体制により、施設機能の強化・充実を図る。 ●さかなクンを「渚の駅」たてやま名誉駅長に委嘱（委嘱式：H27.12.25） ●さかなクンイラスト（施設外壁塗装） ●さかなクンギャラリーの開設</p>	商工観 光課	みなと 課		<p>【KPIによる評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・「さかなクン」が出演するテレビ番組に取り上げられたこともあり、平成28年1月から3月の「渚の駅」たてやまの博物館入館者数は、前年に対し約2.6倍となった。</p>	<p>【今後の方針】 ・追加等、更に発展させる</p> <p>【理由・説明】 ・平成28年度においては、「さかなクン」を起用した館山市PR動画を制作し、インターネット等の映像媒体により本市の魅力を広げ発信し、知名度・認知度の向上を図り、交流人口の増加等による地域活性化につなげていく。</p>	<p>○賛成である。 ○「さかなクンギャラリー」は、さかなクンの全国的な知名度により、幅広い年齢層に関心を持たれ、観光名所の一つとして定着してきていると思う。雨天でも観光できるのがメリット。 ○来館数の増加で満足することなく、真の目的である地域活性化（経済効果）につなげていくことをもっとしっかり考える必要があるのではないかと。商業棟に館山産のものが少ないのも疑問。</p>	

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27 担当課	H28 担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 (実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針)		総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
									事業の評価	今後の方針	
			8	<p>《④自転車競技環境整備事業》 スポーツ観光推進による地域活性化を図るため、市内自転車コースの調査及び自転車ラック（バイクラック）の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自転車ラック整備 <ul style="list-style-type: none"> ・固定タイプ：4カ所 ・移動可能タイプ：4カ所 ●市HP等にて情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめコースの設定（3パターン） 	スポーツ課	スポーツ課			<p>【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・トライアスリートの山本淳一氏だけでなく、ロンドン五輪トライアスロン日本代表の細田雄一選手もモデルにし、市HPやFBで情報発信するとともに、山本淳一氏や細田雄一選手も自ら、自身のFB等でPRしていただき、情報拡散した。 ・民間事業者による私設のバイクラックも整備されてきた。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の終了</p> <p>【理由・説明】 ・私設のバイクラックも現れたことから、当初の目的を達成したため。</p>	<p>○自転車ラック8カ所で十分なら賛成。 ○民間事業者の参入により、公の事業が終了するのは望ましいこと。民間が参入しやすいきっかけを作ることが大切だと思う。 ○バイクラックの設置で自転車競技の環境が整備された。トライアスロンの競技及びトレーニングの場としての利活用、館山トライアスロン協会の活動にも期待する。 ○バイクラック利用者数の目標と実績がどうだったのか？事業の効果を検証するためにこうした数値も知りたい。 (⇒自由に利用できるため、利用実績は把握できない。)</p>
基礎交付4	移住・定住促進事業	「住みたい田舎（都会から通える田舎部門）」ランキング1位の特性（首都圏からの地理的要件、恵まれた気候・豊かな自然）を活かし、移住者の更なる増加、二地域居住推進等による人口減少への歯止め及び地域活力の向上を図る。	9	<p>《雇用促進事業》 市内での雇用促進を図るため、企業・起業家誘致におけるトップセールス用パンフレット作成及び東京での雇用マッチングイベントを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パンフレットフォルダーの作成：8,000部（企業・起業家誘致用） ●「南房総でお仕事さがしin東京」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・企業20社参加 ・69名が参加し、5名の採用が実現 <p>《移住・定住促進事業》 移住定住者の増加により、人口減少対策及び地域活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●移住相談業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者への相談業務（216件） ・首都圏での移住相談会開催（5回） ・チラシ、パンフレットの作成 ●定住促進支援事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が実施する2事業に補助（農園体験ツアー・婚活ツアー） ●住宅リフォーム補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住者用：7件の補助 	商工観光課（雇用定住）	商工観光課（雇用定住）	<p>【執行額】 8,209,447円</p> <p>【補助対象額】 8,173,903円</p> <p>【交付金充当額】 8,173,903円</p>	<p>【評価指標】 移住世帯数</p> <p>【基準値】 23世帯</p> <p>【目標値】 25世帯</p> <p>【実績値】 28世帯（67名）</p> <p>【達成率】 112.0%</p>	<p>【KPIによる評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・移住相談業務の実施や東京での移住相談会の開催により相談者も増え、目標を上回る結果につながった。</p>	<p>【今後の方針】 ・追加等、更に発展させる</p> <p>【理由・説明】 ・引き続き移住相談体制を整えるとともに、移住相談会の開催や、新卒者向け、シニア向け、パートタイム向けなど新たな雇用のマッチングイベントの開催などを検討していく。</p>	<p>○賛成である。首都圏に限らず、東北や中国地方といった地域からの雇用も面白いと思う。 ○空き家の利活用促進。 ○空き家の有効活用と連動させていくべき。 ●目標値設定が低すぎないか。雇用が少ないので、仕事を作る人を呼び込む環境作りなども必要と感じる。</p>

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27担当課	H28担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 (実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針)		総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
									事業の評価	今後の方針	
基礎交付5	食のまちづくり推進事業	豊かな地域農水産物を活用した「食のまちづくりの推進」により、地産地消推進、生産者の所得向上による地場産業の活性化を図る。	10	<p>《食のまちづくり推進事業》 農水産物加工事業の推進を図るため、新たな加工品の商品化等の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●加工品開発推進検討会議の開催（7回） ●試作加工品の開発：9品 <ul style="list-style-type: none"> ・フルーツピューレ ・フルーツ茶 ・フルーツタルティーン ・フルーツサイダー ・フルーツ染料 ・フルーツオイル ・フルーツジャムアンパン ・ドライフルーツ ・芳香剤 ●試作加工品のモニタリング調査 ●需給アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> ・生産者向け ・需要家向け（飲食店、宿泊施設等） 	農水産課 (食のまちづくり)	農水産課 (食のまちづくり)	<p>【執行額】 4,005,590円</p> <p>【補助対象額】 4,005,590円</p> <p>【交付金充当額】 4,000,000円</p>	<p>【評価指標】 特産加工品数</p> <p>【基準値】 -</p> <p>【目標値】 試作品 3品</p> <p>【実績値】 試作品 9品</p> <p>【達成率】 300.0%</p>	<p>【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・試作品の開発・評価を通じて、フルーツピューレなどフルーツの1次加工品について活用の意向などの需要が把握でき、モニタリングなどにより改善点など今後の商品化に向けた有用なデータが収集できた。さらに、フルーツタルティーン等の3次加工品については、一般消費者を対象としたアンケート調査により、館山のフルーツ加工の優位性や好イメージが確認できた。こうしたことから、特産フルーツを活用した様々な加工品開発の多様性が認識できた。 ・生産者や関連事業者により加工品開発検討会議を組織し、試作品の開発評価を進めたことで、参加事業者間で強いネットワークを生み出すことができた。 ・需給調査の実施により、供給側では、加工事業への原材料の種類や供給量などが把握できた。また、飲食店等の需要側では飲食店等において、どのような加工品を使用したいかなどの意向が把握できた。</p>	<p>【今後の方針】 ・追加等、更に発展させる</p> <p>【理由・説明】 ・今回の交付金事業で得られた有用なデータを活用し、生産者や関連団体が構成する「食のまちづくり協議会」が地域の事業者呼びかけ、地域の生産者や加工関連事業者が連携した多様な取組による加工品開発が推進されるよう促していく。 ・原材料の安定供給のため、生産体制の維持強化に向けた取組を行うとともに、生産者や関連事業者が主体となり加工品開発促進に向けたビジョンを共有し推進していく。 ・市有地を活用し、加工・物販・飲食などの機能を持つ食のまちづくりの拠点施設の整備を推進していく。施設が整備された場合は、食のまちづくりの加工事業の拠点とし、1次加工品などを地域の食関連事業者へ供給するなど、地域ぐるみで加工品開発が促進されるよう、地域の生産者や関連事業者と連携した事業を推進していく。</p>	<p>○賛成である。気候が良いので、多くのフルーツが獲れると思うが、もう少し種類を絞ったほうが良いと思う。</p> <p>○加工品は全国にも同様の商品が多いと思うが、その中で、ネーミングやキャッチコピー等の工夫は、買い手にとっては魅力となる。館山ならではの素材が十分に活かされた加工方法で館山ブランドの製品ができると良いと思う。</p> <p>●拠点施設にはこだわらないほうがよいと思う。場所ありきで考えるのではなく、空き施設の活用など、お金をできるだけ掛けずに地域資源を活用する方策を考えるべき。</p>
基礎交付6	教育環境ICT化事業	当該地域の次世代を担う「人」づくりのため、教育分野におけるICT技術の活用により、郷土館山を代表する戦国大名里見氏の歴史学習などの新たな取組を行うとともに、地理的制約（半島性）などの要因から都市部と比較して遅れている地域ICT化の推進を図る。	11	<p>《教育環境ICT化事業》 生徒児童の学力向上を図るため、電子黒板等の教育支援機材の購入及びICT支援員の配置を行い効果的な活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ICT支援員の配置：2名 (電子黒板活用サポート事業委託) ●電子黒板の購入：19台 (小学校16台・中学校3台) ●教科学習用ソフトの導入 (小学校8校分) ●デジタル教材の作成 (歴史副読本「さとみ物語」) 	教育総務課	教育総務課	<p>【執行額】 35,348,400円</p> <p>【補助対象額】 35,348,400円</p> <p>【交付金充当額】 16,500,000円</p>	<p>【評価指標】 ICT活用授業割合</p> <p>【基準値】 2%</p> <p>【目標値】 5%</p> <p>【実績値】 4%</p> <p>【達成率】 80.0%</p>	<p>【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・ICT支援員による活用サポート、機器の追加導入による使用環境の向上及び教科学習ソフト導入によって、授業で利用できるコンテンツが充実したことから、ICTを活用した授業割合が増加し、ICT化の推進が図られた。</p>	<p>【今後の方針】 ・追加等、更に発展させる</p> <p>【理由・説明】 ・教育におけるICT環境の整備は、今後さらに重要度が高くなるものであり、国の目標基準（電子黒板：1クラス1台）を満たすため、引き続き、電子黒板の整備をはじめ、活用の幅を広げるICT支援員の配置に向けた取組を進めていく。</p>	<p>○学校現場での電子黒板を活用した授業は、児童・生徒たちの興味・集中がみられ、学習意欲の向上が多いに期待できる。改善点にあるように、さらなるICT環境の整備、それに伴う支援員増員による事業の推進を望む。</p> <p>○ICT化を否定はしないが、教室に扇風機すら無い状況など、まずは最低限の学習環境を整えるべき。</p> <p>●電子黒板は高価なものであり、購入するならば、きちんと管理・活用していただきたい。国の目標基準とはいえ、1クラス1台は多すぎる気もする。電子黒板が無ければ最新のレッスンができないということではないと思うので、現場の声をよく聞いた上で、有効に活用できる環境を整えていただきたい。</p> <p>●ICT化事業で、生きる力や郷土愛がはぐくまれる効果がどの程度あるか疑問もある。都会ではできない自然を利用した館山ならではの独自性のある教育を進めることが大切ではないか。</p>

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27 担当課	H28 担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 （実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針）		総合計画審議会委員による意見 （事務局案について）
									事業の評価	今後の方針	
基礎 交付 7	子育て環 境改善事 業	子育てし易いま ちづくりのた め、子育て環境 の充実・経済的 負担軽減施策に より、出生率向 上を図る。	12	<p>《①防災用品備蓄事業》 災害避難場所で使用するため、子育て世帯や子ども・乳幼児に配慮した防災用品の備蓄等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難所生活環境改善備品 <ul style="list-style-type: none"> ・マット：44本 ・簡易型テント：110張 ●備蓄食料品 <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ米：3,000食（ノンアレルギー対応） ・保存水：約4,000本（乳幼児ミルク対応） 	社会安全課	社会安全課	<p>【執行額】 ①2,931,640円 ②8,010,565円 ③1,988,928円</p> <p>【補助対象額】 9,476,603円</p> <p>【交付金充当額】 6,835,000円</p>	<p>【評価指標】 （普通）出生率</p> <p>【基準値】 6.00</p> <p>【目標値】 6.00（維持）</p> <p>【実績値】 6.4</p> <p>【達成率】 106.7%</p>	<p>【KPIによる評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・災害時の避難所生活でも子育てしやすい環境を整備するため、女性・子どもに配慮した非常食用食糧及び避難所用備品を購入したことにより有事の際に対応できるようになった。</p>	<p>【今後の方針】 ・追加等、更に発展させる</p> <p>【理由・説明】 ・事業前は、最低限の備蓄ということで、女性用品、乳幼児用品や高齢者等の介護食などを備蓄している割合は低かった。 ・今後は、H25.8内閣府指針に基づき、また、被災地における現地調査等で聞き取った好事例を参考に、女性の視点・ニーズや地域住民の状況をさらに配慮した防災施策・防災備蓄のあり方を検討していく。</p>	<p>○賛成である。 ○制度を活用しながら、必要なものを揃えてほしい。 ○避難所での乳児をもつ女性の部屋の問題（夜泣きで他人に迷惑がかかるので、その配慮）。身体障害者も同様。</p>
			13	<p>《②子育て支援事業》 子育てし易いまちづくりのため、子育て環境の充実及び子育て世帯の経済的負担軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住宅リフォーム補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯用：12件の補助 ●ファミリーサポート事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・利用券の割引（1回700円/hのうち300円分を公費負担） ・PRポスター・チラシの作成 ●元気な広場の改修 <ul style="list-style-type: none"> ・園庭（屋外遊戯場）の部分拡張 ●各施設の屋外遊具等の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園3園、こども園3園、幼稚園6園 	こども課	こども課		<p>【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・元気な広場は、1日あたり100人を超える利用があり、その機能を十分に発揮している。 ・本事業では広場の庭の部分拡張を実施。 ・加えて、住宅リフォーム費用の補助による経済的支援、利用割引ファミリーサポートの発行による活動件数の増加、保育園等の屋外遊具等の整備を行い、子育て支援及び子育て環境の充実に努めた。 ・これらにより、少子化対策につながっている。</p>	<p>【今後の方針】 ・追加等、更に発展させる</p> <p>【理由・説明】 ・ファミリーサポート事業については、割引の反響や利用者の声を受け、平成28年4月より、元気な広場内でのお預かり活動の料金改定や「赤ちゃんお誕生プレゼント」として2時間無料のバスポートを開始するなど子育て支援の継続実施に努めていく。</p>	<p>○賛成である。 ○子育ての負担軽減のため続けてほしい。 ●事業の効果を検証するために数値が欲しい。例えば、ファミリーサポート利用者数の目標値と実績。「元気な広場」利用者（新規）の目標値と実績など。</p>	
			14	<p>《③児童遊園環境整備事業》 子育て環境の充実を図るため、児童遊園における屋外遊具等の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊具購入：2カ所（二連式ブランコ） ●遊具修繕：7カ所（計7基） ●遊具撤去：2カ所（計3基） 	生涯学習課	生涯学習課		<p>【KPIによる評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・子どもたち（特に幼児）が安全・安心に遊ぶことができる環境を整え、子育ての一助となる環境を提供することができた。また、遊具の新規設置や修繕を行うことで、児童遊園の利用しやすさを向上することができた。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・子どもたちや子育て世代が気軽に利用できる安全で安心な児童遊園を提供できるよう、現状どおり引き続き維持管理を継続していく。</p>	<p>○賛成である。 ○必要に応じて整備を行ってほしい。</p>	

区分	事業名	目的	事業No.	事業概要	H27 担当課	H28 担当課	事業費	重要業績評価指標（KPI）	事務局案 (実績値等を踏まえた事業の評価及び今後の方針)		総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
									事業の評価	今後の方針	
上乗せ 交付II 1	介護職員 人材確保 支援事業	超高齢社会に突 入し、介護人材 の不足が叫ばれ る中、介護職員 初任者研修費用 の一部を助成す ることにより、 介護人材の確保 と介護施設等へ の雇用の確保を 図る。	15	《介護職員資格取得費助成金》 介護職における人材確保のため、介護資格の取得 (介護職員初任者研修)にかかる費用に対し支援 を行う。	高齢者 福祉課	高齢者 福祉課	【執行額】 31,000円 【補助対象額】 31,000円 【交付金充当額】 31,000円	【評価指標】 研修受講者数 【基準値】 15人 【目標値】 30人 【実績値】 1人 【達成率】 3.3%	【KPIによる評価】 ・ある程度有効であった 【理由・説明】 ・今回は、周知不足等により、利用者が 少なかったが、本事業は介護職を目指す 方の後押しにもつながるもので、需要は あり、また、介護人材の育成と介護施設 等への雇用確保のために有効であり、長 期的な取組が必要不可欠である。 ・今後は、実績を積み重ねつつ、より利 用しやすい制度への改善とPRの強化に より、利用を促すとともに、引き続き事 業を実施していく必要がある。	【今後の方針】 ・事業内容の見直し（改善） 【理由・説明】 ・利用者の増加に向け、制度の改善、P Rの強化等を図りつつ、事業を継続して いく。	事務局案（【KPIに対する評価】【今後 の方針】）について、ご意見・ご提案等あ りましたら、ご記入ください。 ・賛成、反対 ・良かった点、課題、改善策など
上乗せ 交付II 2	サイクル ツーリズム 推進事業	サイクルツーリ ズムを推進し、 来訪者の周遊性 の向上と滞在時 間の延長による 地域経済の活性 化を図る。	16	《サイクルツーリズム推進実証実験委託事業》 観光客の周遊性の向上及び滞在時間の延長を図る ため、GPSを利用したレンタサイクル利用者動 向調査等を行う。 ●「たてやまサイクルスタンプラリー」の実施 ・実証実験（H28. 1. 12～H28. 2. 29） ①乗り捨てシステムの構築 ②手荷物配送システムの構築 ③サイクリングマップの作成 ④観光拠点における地域情報の発信	プロ モー ション みなと 課	商工観 光課	【執行額】 4,937,960円 【補助対象額】 4,937,960円 【交付金充当額】 4,937,960円	【評価指標】 レンタサイクル貸出回数 【基準値】 200台 【目標値】 250台 【実績値】 240台 【達成率】 96.0%	【KPIによる評価】 ・非常に有効であった。 【理由・説明】 ・二次交通の脆弱性を解消するために、 レンタサイクルの果たした役割は大き い。 ・また、自動車での来訪者が多い南房総 において、日帰り客がほとんどである 中、サイクリングで観光地をのんびり周 遊してもらうことは、消費の拡大や宿泊 の増加等、地域経済の活性化につなが っていく。	【今後の方針】 ・事業の継続 【理由・説明】 ・スタンプラリーが2か月間と非常に短 期間であり、周知期間も短かったため、 効果の発現が少なかったが、今後も継続 的に実施し、市外、県外でのPR活動、 あらゆるメディアでの情報発信により、 健康志向のウォーキング愛好者等の誘客 が期待できる。	○賛成である。 ○実証実験の結果を、今後のサイクルツー リズム推進に繋げて欲しい。
上乗せ 交付II 3	地域農産 物の流通 促進事業	年間を通じて 地域の特産野菜 等の活用が可能 な環境を整備 し、農産物の消 費拡大など、地 産地消の推進に より地域産業の 活性化を図る。	17	《農産物等流通促進実証実験委託事業》 地元農産物の流通促進を図るため、農産物等の貯 蔵設備を整備し、更なる活用に向けた実証実験を 行う。 ●実証実験事業（H28. 2. 1～H28. 3. 11） ・生産者：10件 ・飲食店等事業者：12件 ・受発注システムの試験的導入 (電子ファクスを活用した受給情報の一元化) ●実証実験事業に関するアンケート調査 ●貯蔵設備等の整備 (農作物の長期保存用) ・プレハブ型大型冷凍庫、冷蔵庫 ・食品乾燥機 ・真空包装機 ほか	農水産 課 (食のま ちづく り)	農水産 課 (食のま ちづく り)	【執行額】 4,072,726円 【補助対象額】 4,072,726円 【交付金充当額】 4,072,726円	【評価指標】 農産物の規格外品の活用量 【基準値】 — 【目標値】 500kg 【実績値】 270kg 【達成率】 54.0%	【KPIによる評価】 ・ある程度有効であった 【理由・説明】 ・実証事業を行うことで、生産者と飲食 店等事業者による農産物取引の連携強化 が図られるとともに、課題や問題点が抽 出でき、関係者間での共有が図られた。 ・飲食店等事業者が地元産農産物を活用 を拡充することで、鮮度の良さなど地元 産農産物活用の効果が実証された。これ ら飲食店等事業者の流通事業に対する ニーズを把握でき、今後の事業推進の足 掛かりとすることができた。 ・規格外品の有効活用として、飲食店等 を対象に活用モニタリングを実施した結 果、飲食店等における活用ニーズが把握 でき、今後の事業推進における有用な データが得られた。 ・実証事業においては、事業実施段階に 飲食店等事業者の野菜等購入希望数量な どの需要を取りまとめ、流通取引を行っ たが、これらの需要量が当初計画で定め る目標値に達しなかった。そのため、規 格外品の活用についても、実績値が目標 値を下回る結果となった。	【今後の方針】 ・事業の見直し（改善） 【理由・説明】 ・流通事業については、生産者や関連団 体で構成する「食のまちづくり協議会」 において、今回の実証事業で得られた有 用なデータを活用し、事業内容の再検討 を行いつつ、事業運営主体の組織化を呼 びかけていく。 ・今回の実証事業で得られたデータや冷 凍庫等の備品類を有効活用し、生産者や 飲食店事業者の連携強化を図っていく。 ・市有地を活用し、加工・物販・飲食な どの機能を持つ食のまちづくりの拠点施 設の整備を推進していく。施設が整備さ れた場合は、直売施設を農産物の集出 荷・保管調整など、地域内流通事業の拠 点とし、効果的・効率的な事業運営の推 進を図っていく。	○賛成である。 ●箱ものの拠点整備にこだわらないことは 【No.10：食のまちづくり推進事業】と同 じ。購入した冷凍庫・冷蔵庫等の有効活用 は必要だが、光熱費をまかなえないなら使 わないという判断も必要。